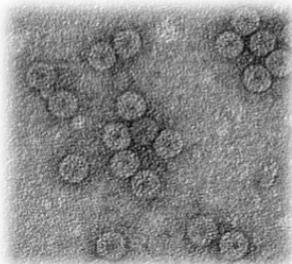


園芸学とウイルス学の異分野融合研究会



共催：園芸学会 平成28年度春季大会 小集会
：革新的ウイルス対策技術分野叡智共有化プラットフォーム
：公益財団法人 岩手生物工学研究センター
第2回「DECS法ワークショップ」



協賛：株式会社ファスマック, 株式会社医学生物学研究所(MBL)

開催概要

日時：2016年3月25日(金) 14:00 - 17:00
場所：プロミティあつぎビル 8階会議室
(神奈川県厚木市中町4-16-21)
参加：自由 (参加費無料, 事前登録なし)



◇プログラム◇ 講演者(敬称略)および演題

- 【講演1】(14:05 - 14:35) 岡山大学 世良貴史
「革新的人工核酸結合タンパク質を用いたウイルス不活性化技術の確立と社会実装」
- 【講演2】(14:35 - 14:50) 岩手生物工学研究センター 館田知佳
「網羅的ウイルス検出技術の開発」
- 【講演3】(14:50 - 14:55) 株式会社医学生物学研究所 (MBL)
「Plant viral dsRNA enrichment kitの紹介」
- 【講演4】(14:55 - 15:05) 株式会社ファスマック
「ウイルス検査事業の紹介」
- 休憩 (15:05 - 15:20) -
- 【特別講演】(15:20 - 16:10) 東京農工大学 小松 健
「敵か味方か? ~植物ウイルスと花卉園芸の深い関係~」
- 【講演5】(16:10 - 16:30) 岩手生物工学研究センター 田崎啓介
「園芸作物の品目に合わせたウイルスベクターの構築」
- 【講演6】(16:30 - 17:00) 静岡大学 中塚貴司
「ウイルスを利用した花卉園芸植物の遺伝子機能解析の利点」

※講演終了後：若干の自由討論の時間があります。



世話人：関根健太郎 (琉球大学農学部 植物病理学研究室)
連絡先：(Tel) 098-895-8728 (E-mail) k-sekine@agr.u-ryukyu.ac.jp